

環境経営情報システム

リコーグループは、環境負荷情報システムや環境会計情報システムなど、さまざまな情報システムを構築し、環境経営の実現に向けて取り組んでいます。環境負荷情報システムは、2000年度、国内のリコーグループの画像機器(複写機器、情報機器)分野でシステム構築を完了。2001年度は、システムの稼働を開始します。

環境負荷情報システム

環境保全活動の推進を通じて、循環型社会の実現に貢献するためには、コミットサークルの概念に基づいて事業活動全体の環境負荷を把握し、負荷の多い工程から効果的に改善することが必要です。また、社会への情報開示や、社内の環境保全活動の改善効果把握のためにも、LCA的にデータを捉えることが重要です。リコーグループでは、これらの課題に適切に対応できるよう、事業活動の全領域におけるエコバランス*を定量的に捉え、環境経営に活かすために「環境負荷情報システム」を構築しています。

* 21ページを参照。

環境会計情報システム

経営資源を有効に環境保全に活用するためのシステムで、経理システムの一部として稼働しています。将来は、リコーグループのすべての環境投資・環境保全効果・経済効果を、エコバランスに基づいて把握できるシステムへと発展させていきます。

その他の情報システム

環境改善事例をリコーグループ内で水平展開するためのデータベースをはじめ、法規制や環境ラベルに関する情報の共有化、お客様や各機関からの問い合わせ対応など、さまざまな情報システムを構築し、環境経営の推進を図っています。

環境負荷情報システム



